

日記2002年

ホーム

野鳥を学ぶ

自然を学ぶ

リンク

フィールドノート

サイトマップ

1/3 今年の初鳥見も、宮城県外でスタート。まずは情報をもらっていたコオリガモをGETすべく、福島市の阿武隈川親水公園へ。いきました、とっても近い場所に1羽。35~105mmレンズしか持ってなかったのに、とりあえず手持ちで写真を数枚撮る。今年最初のライファーはコオリガモ。ラッキー(^_^)v

1/5 日本野鳥の会「日本の探鳥地 東日本編」を片手に、日立市小貝浜へ行く。ガイドブックには「伊師浜海岸」や「鶺鴒の岬」が載っているが、環境的に『蚕養神社~小貝浜』コースがおもしろそうだったので松林を歩いてみる。着いてすぐにハヤブサがノスリをモビング。ハヤブサの鳴き声も聞くことができた。松林を歩くとアオジの何と多いことか…。断崖絶壁から遠くのテトラポッドを見ると、ウミウの中にヒメウがいたり、ウミネコの中にシロカモメがいたり、シノリガモが隠れていたりとなかなかおもしろい。目星をつけた松の木には案の定ハヤブサのつがい。上から見下ろす角度で写真が撮れ、大満足の1日だった。



3/3 この頃鳥見に行っていない…いや、行ってはいるのだが、心躍る出会いがないのである。しかし！今日は久しぶりに心躍るできごとがあった。(ごめんなさい、鳥ではありません)

トップページに検索窓をつけてみたのである。とほほさんの自作CGIを手直したものだが、なかなか便利。どこに何があるか自分でも分からないほど無計画にコンテンツを増やしてしまったので、「使っていただく」というよりは、「自分で使う」ことが多いかもしれない…(*^_^*) 動いたときはガッツポーズ！！だった。



3/21 久しぶりに飛び込んだ情報！ 野蒜にクビワキンクロ♀、仙台市にヤマヒバリ！！ どちらを取るか悩んだ末、二兎を追うことに…(^_^) 東和町を7時に出て野蒜へ。8時半に着いてホシハジロ&キンクロハジロの群れを探すも…いない。10時まで粘っているうちにホシハジロ♀がみんなクビワキンクロに見えてきた。あきらめて今度は仙台市へ。10時半に着いたら知り合いの皆さんがたくさんいた。聞くと「1時間半前にはいたよ」のいつものセリフ(^_^)。一兎も得られないのではあまりに悲惨だったが、粘ること1時間。みんなの前に出てきてくれた。しかもカヤクグリとツーショット！！(実はカヤクグリもライファー。だって沼の近くには住んでないんだもん) すぐに野蒜に戻るがクビワキンクロはやっぱいいない。くやしい。どっと疲れが出てしまった。でも…ライファー2種で良しとしなきゃいけないかなあ…

4/20 年度始めの忙しさでほとんど鳥見に行けず、ストレスがたまってきた。そこで近場をドライブ… 出かけて正解！ サシバが渡ってきているではないか！！ 「ピックイ~」の声や、飛んでいる姿を見たことはあるものの、止まっている姿や背中・腰を見たのは初めてである。灯台下暗し…ですね。



7/16 仕事がとにかく忙しい……。環境教育のほかには情報教育に首を突っ込んでいるのだが、



6月1日に新しいPCとそのシステムが導入されたもんだからてんてこ舞い。
何週間フィールドに出ていないだろう……
そうこうしているうちに、珍しく台風が2つ続けてやってきた。6号と7号である。
「地区巡視」の名のもとに念願のフィールドに出てみたのだが、何もいない……
上の写真が伊豆沼二工区の水田と水路。
下の写真が蕪栗沼である。

8/24 ずっと前から、フィールドマーク(野外識別点)から野鳥の名前を検索できるホームページを作りたいと思っていた。1か月ほどかけて挑戦し、トップページに検索窓を付けてみたのだが……日本語って本当に難しい！
まず色の表現が微妙。そして体の部位を表すには専門用語が必要。それらしきものはできたのだが、はたして小学生に理解できるかどうか……そして上手に検索できるかどうか……たぶん無理かな(^_^)



9/22 日本野鳥の会宮城県支部の探鳥会に参加しようと鳥の海に向かったが、途中でヘラギ情報が入る。集合場所を通り過ぎ、鳥の海河口に向かう。すごく急いだつもりなのだが、現場にいた方々の同情の目……
「1分半前にはいたんだけどねえ。飛んじゃったよ」(出た！聞きたくないそのせりふ！)
あまりのショックと悔しさで、探鳥会に出ることをやめ、現場にいたgorgeさん、Paulさん、ささきさんにくっついて休耕田&海岸巡りをすることにした。シギチは9種。岩沼の海岸ではライファーのオオミズナギドリ(*^^*)をGETできた。ここで海の鳥を今まで見てこなかったということを痛感。この冬は海通いをしようと心に決めたい一日だった。

9/23 今日は伊豆沼クリーンキャンペーン。たくさんのごみを拾い、スッキリした気分で探鳥を行う。今日のめあてはシギチ。車道沿いから見る泥地にはその姿がなくてあきらめかけたが、歩きながらじっくり観察するといわゆるわいるわ……。8種97羽を見ることができた。それにしても、鳥を見始めた頃には絶対に識別できないと思い込んでいたシギチに、最近はずっかりのめりこんでしまった。大切なのは見続けること……だろうか。

10/13 ガンのシーズン到来！ということで、伊豆沼と蕪栗沼に行ってみた。伊豆沼の近くでカリガネ成鳥を観察・撮影。蕪栗沼でシジュウカラガン1羽と、カリガネ6羽を観察。それにしてもガンの数が多い。蕪栗沼には8:30頃、朝の食事を終えたガンたちが続々と戻ってくる。情報によると、36,000羽いるとか……。昨シーズンのこの時期には、すでにハクガンも渡来していた。今シーズンは、いつ来るのだろうか。

12/1 ハクガン飛来の情報をもらってから約2週間。先週の日曜日、所要の帰りに伊豆沼二工区を探したが会えず。後日「その時間三工区にいた」ことを知る。今日こそは！とねぐらである蕪栗沼に行ったが、「5分前に飛び立った」という悪魔のことは……。あまりのショックに言葉を失ったが、北方面に飛んでいったという情報を頼りに、伊豆沼近辺を探し回る。2時間探し回り、大きな群れはいくつも発見できたがついに会えず。登米・栗原・古川地域にちらばった6万羽のガンの中からたった1羽を探し出すのはやはり無理があるのだろうか。Yahoo！占いで最高の日だったんだけどなあ……ハクガンよ！新潟に行かないで越冬してくれ！



〔後日談:このハクガンは、12月3日に伊豆沼三工区にて無事見ることができました。写真でもお分かりのとおり、マガンに比べてかなり大きい個体です。〕

12/31 大晦日の午後……新年を迎える準備がほぼ整った時間に、「気仙沼にコスガモ」の情報が飛び込んできた。情報主のtoppoさんにさっそく電話。詳しい場所を聞く。
元旦は蕪栗沼で初日の出&ガンの飛び立ちを見る予定だったが、どうしようかと悩み始める。元旦はお客さんも来るし、初詣もしなきゃいけない。気仙沼往復が約3時間。う～ん……
明日の朝の気分で決めよう！今年もお世話になりました。来年もよろしく願いいたします。m(_)_m

初めて見た鳥(ライファー)たち
コオリガモ ヤマヒバリ カヤクグリ サシバ オオミズナギドリ ソリハシシギ キリアイ